

いわき市津波災害時における自動車避難検討部会に参加し、自動車による避難ガイドラインや津波避難訓練の検討に協力しました(2017/1/30, 2/17, 5/29, 7/18)

テーマ：津波避難行動、自動車避難、渋滞、津波避難計画、津波避難訓練

場所：福島県いわき市

URL：<http://www.city.iwaki.lg.jp/www/contents/1485757632676/index.html>

2016年11月22日に発生した福島県沖の地震では、地震の直後から福島県沿岸に津波警報が発表され、県内の各地で津波に備えた自動車による避難と渋滞が発生し、当時大きく報道されました。いわき市でも市内各地に避難する車などの渋滞が見られ、津波災害時の自動車の避難とそれによる渋滞が現実的な課題として浮き彫りになりました。この問題を検討するため、いわき市および市内の関係機関による「津波災害時における自動車避難検討部会」が設置され、2017年1月から7月にかけて4回の会議を通じて検討が重ねられました。当研究所からは杉安和也助教（リーディング大学院）、安倍祥助手（寄附研究部門）がオブザーバーとして参加しながら、いわき市内で実施した市民の避難行動に関するヒアリング・アンケート結果の報告や、宮城県内の市町村における自動車避難対策・避難訓練等の取り組みについて情報提供を行いました。

杉安助教、松本行真准教授（リーディング大学院）らのグループでは、いわき市四倉地区・沼ノ内地区・薄磯地区の3地域で福島工業高等専門学校専攻科生の班目佳小里氏らとヒアリング・アンケート調査を行い、昨年11月22日の市民の行動や移動手段、その理由などを分析し、課題点も抽出して検討部会で報告しました。安倍助手は、自動車を使った津波避難訓練の先行事例を紹介し、複数の避難経路を確保したり、津波浸水域外に誘導者を置くなど避難する車が分散する工夫などの事例を報告しました。このほかにも、自動車避難に関する様々な検討項目に対して対応策や留意点などの意見・アドバイス等を資料として提出しています。

検討部会では各種の検討項目に様々な角度から議論され、課題解決に向けた考え方として津波災害時は原則徒歩の避難を徹底していくことや、自動車による津波避難の方針、今後の検討課題や短期及び長期の取組方針などが整理されて、いわき市における「津波災害時における自動車避難ガイドライン」の素案が7月18日の会議でまとめられました。今後、いわき市防災会議へ報告され、ガイドラインに基づいた具体的な取り組みが推進される予定です。

このほか、9月24日のいわき市総合防災訓練では津波避難訓練が予定されているほか、今後地区ごとに地域住民と議論しながら津波災害時の避難のローカルルールを検討していくことも計画されています。引き続き行政および地域と連携してこの問題に取り組んで参ります。



津波災害時における自動車避難検討部会で発言・報告する杉安助教（左）安倍助手（右）

（写真提供 いわき市総合政策部危機管理課）

文責：杉安 和也（リーディング大学院）、安倍 祥（寄附研究部門）